



**デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）  
令和6年度実施事業に係る効果検証資料**

事業名	とうおんスマートヘルスケア創出事業									
計画年度	R6～R8	担当部署	地域活力創出課	事業費(R6) (千円)	総事業費	うち国費	うち県費	うち一般財源		
					19,434	9,716	0	9,718		
根拠法等	第2次東温市総合計画 第2期東温市まち・ひと・しごと総合戦略 第3次東温市健康増進計画									
事業概要	公共交通が不足する中山間地域の市民や、自身の健康に対する危機感の少ない市内中小零細企業の従業員等の健康維持が課題となっていることから、市と愛媛大学医学部や附属病院、市内企業等と連携している枠組みを活用し、健康寿命の延伸を目的として、他自治体で実証が進められている遠隔医療システム等の新しいデジタル技術を活用した健康増進、介護予防事業を市内各所で実施し、市民の健康意識の高揚を図るとともに、将来の最適な事業プログラムについても検討する。									
事業実績			<b>【令和6年度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営に係る定例会の開催（4月～9月、1月）</li> <li>・健康医療創生研究会での事業検討（7月、11月、3月）</li> <li>・庁内プロジェクト会議での連携検討(11月)</li> <li>・MaaS車両・機器の導入（4月～9月）</li> <li>・区長会、民生委員会等での事業周知（4月～1月）</li> <li>・事業運営マニュアルの作成（10月）</li> <li>・事業デモンストレーションの実施（10月）</li> <li>・市内各所でのオンライン健康相談等の実施（11月～3月）</li> <li>・アンケートの集計（3月）</li> </ul>							
			<b>【令和7年度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長会等での事業周知（4月）</li> <li>・運営マニュアルの改正（6月）</li> <li>・市内各所でのオンライン健康相談等の実施（6月～1月）</li> <li>・国（厚生労働省、経済産業省）との事業協議（7月）</li> <li>・健康医療創生研究会新任委員への事業紹介（10月）</li> </ul>							
	本事業における重要業績評価指標（KPI）				令和6年度		令和7年度		令和8年度	
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1	遠隔医療システムを活用した健康増進・介護予防サービスの参加人数（延人数）				400	95	600	-	800	-
2	健康づくり支援システムの登録人数（人）				500	106	600	-	700	-
3	遠隔医療システム関連サービス利用人数（延人数）				400	95	1,000	-	1,500	-
4	スマートヘルスケア創出事業利用者の満足度（ポイント）				3.5	4.79	4	-	4.5	-
5	健診未受診者の事業参加人数（人）				50	11	150	-	200	-
自己評価	参加者アンケートにより、事業に対する意見を収集し、概ね好評であった。しかし、地域や企業のステークスホルダーの意見や満足度に対する評価が十分に把握できておらず、運用面での評価・改善に向けての情報が不足していた。今後はサービスの申込を行ったステークスホルダーにもアンケートで回答してもらう等、利用しやすい内容の改善に向けた情報収集に努める。また、測定結果やアンケート結果、相談結果について、個人情報の保護に配慮した上で連携企業や愛媛大学医学部等と連携して、東温市の健康課題の解決に繋がる学術的な視点を踏まえた評価方法を検討する。									
	地方創生に非常に効果があった		地方創生に効果があった		地方創生に一部効果が見られた		地方創生に効果がなかった			
事業内容の追加または変更を行い、発展的に実施する		事業内容の改善・見直しを図りながら継続する		事業の一部は継続、一部は廃止する		事業全体を廃止、又は中止する				
委員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIの設定数値が、かなり高くなっているが、現時点での感触は。</li> <li>⇒事業を実施する中で周知や人手の問題が判ってきた。令和7年度の事業全体の实参加人数は500名弱となる見込。</li> <li>・今後の予算は一般財源で継続するのか。</li> <li>⇒厳しい財政状況ではあるが、継続するよう予算確保に努める。</li> <li>・企業向けのPRについて、従業員の健康管理やメンタルヘルス対策をきっかけにすれば参加しやすい。</li> <li>・遠隔診療は、病院間の連携として非常に有意義だが、予算的に厳しい可能性がある。</li> <li>・今後は全国的に遠隔診療が進んでいくと思われる。</li> </ul>									